



目指す子ども像 ふるさとを愛し、心豊かでたくましい子ども

東目屋地区コミュニティ・スクール通信

第7号 平成29年9月6日 東目屋小・中学校 文責(佐藤)



地域とともにある学校づくり

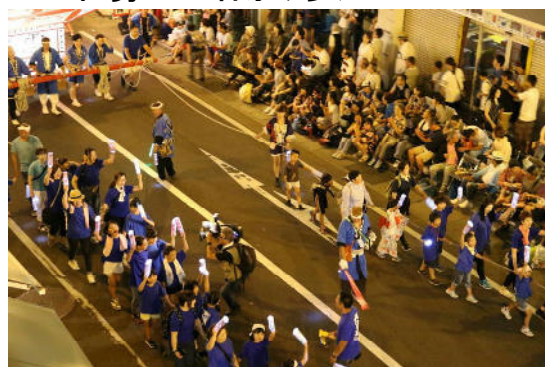
夏休み特集

東目屋地区ねぶた運行

8月1日ねぶたまつり初日
総勢200名余り参加



追手門で待機する東目屋ねぶた



揃いの衣装で一斉に掛け声



東目屋地区ねぶた愛好会(会長 三上雅人さん)は今年で21年連続出陣となります。地区のねぶたには毎年小・中学生、高校生もたくさん参加し、地域全体が盛り上がります。中学校でも夏休み前に参加希望を募りましたが、8月1日の初日には当日参加も多数おり、中学生はほとんど参加したようです。結局保育園児や保護者も含めて全体で200名以上参加し、笛や太鼓とともに「ヤーヤドー」の掛け声高らかに土手町通りを運行しました。今年は中学校創立70周年ということで、のぼり旗やねぶたの側面、前ねぶたなどにも紹介させていただきました。

小・中学生研修会

東目屋地区青少年育成委員会 主催

7月22日(土)~23日(日) 岩木青少年スポーツセンター

研修会は1日目午前中、弘前東消防署を見学した後、午後は岩木青少年スポーツセンターに場所を移し、パークゴルフ、野外炊事、キャンプファイヤーを行い一泊しました。2日目はフィールドワークを午前中に行い、無事終了しました。

参加者は小学生7名、中学生20名で炊事の時には育成委員会委員長の藤田一恵さんの指導で

かまどを使って豚汁づくり



藤田さんの指導を受けてナンづくり



パンの一種である「ナン」を作りました。皆、仲良く楽しく活動していました。いずれリーダーとして地域の将来を担う小中学生のこれからの活躍を期待します。

収穫に向けて整備

中学校 りんご農園整備(仕上げ摘果、草刈り)
7月19日(水) 8月18日(金)

仕
上
げ
の
摘
果



草
刈
り



中学校が夏休みに入り文化祭が終了するまでの間、約1ヶ月半、農園はほとんど放置状態になります。そこで、例年保護者や地域の方をお願いして農園整備を

実施しています。今年度は7月19日に7名参加して仕上げの摘果、8月18日は10名が参加し草刈り、バヤ刈りを行いました。摘果については時間をかけて生徒もやったのですが、それでも不十分のようで、成長したときの様子(りんごどうし近すぎないか、日の当たり具合はどうかなど)をイメージして、余分な実を摘み取ってくれました。

草刈りは、草がだいぶ伸びており、幹の回りは鎌を使用しましたが、それ以外は機械を使ったのできれいに刈り取ることができました。とはいえ、農園は斜面が多いので作業も大変だったと思います。ありがとうございました。収穫に向けて9月から再開する農園活動を頑張っていきます。

東中祭 食堂開催2日間

8月26日(土)~27日(日)



8月9日臨時PTA集会で食堂打合せ そば・うどん・ラーメン担当の皆さん

フランクフルト調理中

今年の東中祭食堂は2日間実施しました。26日に創立70周年式典があり、多くのお客様が来校するので、そのおもてなしの一つとしておそばを召し上がっていただくことにしました。

例年食堂は日曜日だけの開催で、土曜日に開催したときお手伝いの人数が集まるか心配しました。そこで土曜日の品目はそば・うどんだけとし、ある程度人数が集まる日曜日は従来どおりラーメンやフランクフルト、ドーナツなど品目を増やしました。その結果、土曜日約20名、日曜日約30名の保護者がお手伝いしてくださいました。お陰様で式典も無事終えることができました。

なお、食堂2日間の収益は37,680円でした。生徒の部活動等の支援に使わせていただきます。ありがとうございました。



拡大



体育館ステージ幕寄贈

中学校創立70周年にあたって同窓会から体育館ステージ幕を寄贈していただきました。以前使用していたものは50周年の時に記念事業協賛会からいただいたもので20年経ち、だいぶ傷んでいました。同窓会の皆様大変助かりました。大事に使わせていただきます。